

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和3年6月22日(火) 10:00	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 松本 貴史 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

「成長期待企業」(4月選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットワークひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の4社(累計538社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 丹波乳業(株)(牛乳及び乳製品の製造・加工及び販売)

地元を中心に長く愛される“ソウルミルク”を製造する

(1) 沿革等

- ・当社は、2014年(平成26年)3月、設立と同時に兵庫県丹波酪農農業組合より氷上牛乳センター事業の譲渡を受け同年10月より事業開始、現在に至る。
- ・現代取は酪農家として牧場を経営していたが、地元給食で提供されている「ひかみ牛乳」を守りたいという思いから、当社を設立し代取に就任、事業を継承した。

(2) 当社の特徴

- ・当社は、主に丹波篠山・丹波・朝来・養父各市で生産された原乳を使用して製品を作っている。
- ・商品のラインナップは「牛乳」及び「ヨーグルト」で、各種個性的な商品を多数取り扱っている。
- ・当社の牛乳は、低温殺菌を行い原乳に含まれる有益菌を残しており、健康志向に対応した商品といえる。なお、低温殺菌をするには、鮮度が非常に重要であるため、当社では搾乳の翌々に製品として出荷している。
- ・当社の牛乳は、丹波市及びその周辺における多くの市町の学校給食で採用されている。



当社製品ラインナップの一部

(3) 今後の展開

- ・今後については、給食事業の拡大を展望しており、今年度から尼崎市立小学校への納入が始まっている。
- ・また、他の企業とのコラボレーションによる商品開発にも注力していく。現在も実現に向けた案件があり、今後更に増やしていく。
- ・加えて、地元以外の地域、遠くは関東圏での拡販を展望し、地域物産展での出展を引き続き積極的に実施していく。

【丹波乳業(株) 概要】

代表者：吉田 拓洋
 資本金：4,630万円
 従業員数：38名
 所在地：丹波市氷上町石生桜ノ前162
 創業：平成26年3月
 電話番号：0795-82-6324
 ホームページ： <https://tambamilk.jp>



2 向井鍛工(株) (特殊鋼素材の鍛造)

「ややこしい素材」を力と技で手なずける特殊鋼の専門企業

(1) 沿革等

- ・当社は、1917年（大正6年）に現代取の曾祖父が大阪市港区で創業、1962年（昭和37年）に大阪市西淀川区御幣島で法人成り、現社名となる。1968年（昭和43年）尼崎市東塚口町に尼崎工場を新設し、主力工場として操業開始、1986年（昭和61年）尼崎市西高洲町に尼崎工場を新築移転、現在に至る。
- ・現代取は、2017年（平成29年）に操業100年を機に代取就任。前代取である向井猛氏（現代取実父）が会長就任。

(2) 当社の特徴

- ・当社は、特殊鋼メーカーから特殊鋼をインゴットで材料支給を受け、鍛造によって所定の形状に成形したものを顧客に納入している。
- ・当社で行っているのは、熱間鍛造での自由鍛造である。近年、製造現場の機械化促進や安全面、効率面から、鍛造ではプレス機を使用した加工が主流になっている。しかし、当社ではプレス機は使用せず、プレス鍛造よりも多くの技術や経験、そして過酷な作業が伴うハンマー鍛造を行っている。結果として、プレス鍛造による商品より高品質な商品であり、取引先からの信頼を得ている。
- ・当社では主に、電子材料素材（PCや携帯電話、液晶TV等の電気製品を構成する電子部品、半導体、液晶基板などの部材や材料）の鍛造を行っており、これらはリピート受注が見込める。

(3) 今後の展開

- ・今後については、新規顧客の開拓を実施。
- ・また、同時に鍛造時の温度管理等は、ベテラン職人の経験によるものが大きかったが、温度記録装置の開発に取り組んでおり、温度データを記録することで、品質管理能力の向上を図る。



2.5トンエアハンマー



作業員、機械操作者など
皆が気持ちを合わせ、安全に作業する



鍛造された特殊鋼
(上段:鍛造前、下段:鍛造後)

【向井鍛工(株) 概要】

代表者：向井 康裕
資本金：1,000万円
従業員数：12名
所在地：尼崎市西高洲町16-48
設立：昭和32年7月
電話番号：06-6419-6961
ホームページ：http://www.mukai-tanko.co.jp/



「公器としての使命と責任」を胸に医療現場を陰で支える

(1) 沿革等

- ・当社は、前代取である高井國昭氏（代取実父）が1962年（昭和37年）1月に宍粟市山崎町にて創業、翌年揖保郡太子町に移転。1989年（平成元年）に 現社名に社名変更。2017年（平成29年）に物流センターを新設、現在に至る。
- ・現代取は、大学卒業後器械メーカーを経て当社入社、2020年（令和2年）に代取就任。

(2) 当社の特徴

- ・当社は、医療機器の専門業者として、主に兵庫県内の病院、診療所、開業医、自治体等を対象として、安全で安心して使用できる医療機器の安定提供を行ってきた。そのため、医療関係者との信頼関係を60年近く長きに渡って培ってきたことが大きな強みであるといえる。
- ・主力販売商品は、消化器内視鏡分野における医療機器である。競合他社は40社ほど存在するが、内視鏡分野では、一定のシェアを確保している。
- ・当社は、海外メーカーと日本総代理店の契約をしているため、海外製品を直接輸入することができ、その分利益を確保した上で顧客ニーズに迅速に対応でき、新製品の開発を行えることが強みである。
- ・加えて、平成29年に物流センター（倉庫）を新設しており、西播磨地域では、他に同様の施設はなく、顧客である病院のニーズに迅速に対応できる一因になっている。



(3) 今後の展開

- ・コロナ禍の現状においては、更に「医療機器の安定供給」を遂行していく。また、「感染分野」に関わる商品の供給を展望し、新たな市場開拓を進めていく。具体的には、消防、官公庁、役所、企業等、医療業界以外をターゲットとしたマスクや消毒液等の販売を実施していく。
- ・加えて、現状既に行っている他社への倉庫スペースの賃貸も引き続き実施していく。



【高井医療器(株) 概要】

代表者：高井 則亮

資本金：1,000万円

従業員数：13名

所在地：揖保郡太子町佐用岡471-1

設立：昭和37年1月

電話番号：079-277-0285

ホームページ：https://www.takaimedical.com/



4 (株)合食 (加工用農水産原料の輸入・販売、水産加工品の製造・販売)

素晴らしい日本の食文化を大切に受け継ぎ、世界の人たちのより豊かな未来の実現に貢献

(1) 沿革等

- ・当社は、当社は 1946 年 (昭和 21 年) 水垣商店の天津支配人であった砂川憲一氏が、元町高架下に当社の前身となる、缶瓶詰・乾物・海産物商「砂川商店」を創業。その後、食品製造事業への参入、支店・子会社・関連会社設立を通じた全国展開などを進めたが、現代取が製販の一体化、ガバナンスの強化を目的に、グループ会社の統合を 2012 年 (平成 24 年) から推し進め、2020 年 (令和 2 年) 統合が完了、現在に至る。
- ・現代取は大学卒業後、三井物産(株)に入社し、木材関連の部署を歴任、その後、創業者である砂川憲一氏の誘いを受け、当社入社、2011 年 (平成 23 年) に代取就任。

(2) 当社の特徴

- ・当社は、加工用水産原料の輸入・販売、日本食輸出、加工食品の製造、冷凍倉庫業の運営などを主業としている。
- ・水産事業では内外の拠点ネットワークを通じて様々な農水産原料・加工食品を世界中から調達し、販売している。また、グローバルネットワークを生かし、他社が手掛けてない新産地・新原料の開発や内外での付加価値加工を得意としている。
- ・また、食品事業として、常温・チルド・冷凍の 3 温度帯での加工品製造を行っており、常温珍味、フライ菓子、生珍味類、鮭フレーク、CVS 向けチルドパックの魚惣菜、天ぷら等幅広い商品ラインナップがある。
- ・加えて、物流事業部では、3 温度帯の保管だけでなく、配送、物流加工、通関などの総合的なロジスティックサービスを提供している。特に物流加工では、リパック加工や輸出に伴う他言語でのラベル貼りを行うなど付加価値の高いサービスを提供している。
- ・なお、通関業務においては、全ての物流センターで税関の認可を受けた保税蔵置場を有している。



世界中から様々な水産原料や農産原料を調達している



安心、安全で、上質な食品を製造している。

(3) 今後の展開

- ・今後においても、これまで培ってきたグローバルネットワークを生かして、当社の強みである海産物関連の調達・販売事業を強化しつつ、既に着手している農産原料・製品の取り扱い強化にも努めていく。
- ・また、健康により栄養素を豊富に含んだ水産物やフードロスの削減に貢献する賞味期限の長いロングライフ食品、調理手間を省き簡便に美味しく食べられる食品などのニーズが世界的に高まっていくことから、豊富な製品開発ノウハウと得意の原料調達力を生かした魅力ある開発を進めていく。

【(株)合食 概要】

代表者：砂川 雄一
資本金：9,020万円
従業員数：696名
所在地：神戸市兵庫区中之島1-1-1
設立：昭和23年6月
電話番号：078-672-6035
ホームページ：https://corp.goshoku.co.jp/



〔参考〕成長期待企業について

1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、約500社の中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載